

平成18年度JAPANブランド育成支援事業 採択案件一覧表
(戦略策定支援事業)

事業実施者(都道府県名)	事業概要
能代商工会議所 (秋田県)	【木材製品】 豊富な「天然秋田杉」を利用した木材製品の高付加価値化に向け、ブランド化のための戦略を策定する。研修会の開催、流通状況についての調査を実施するほか、これまで杉材が使われてこなかった部材への用途開拓、実用的な製品の開発および需要地である都市・首都圏への販路拡大を目指す。
宮城県商工会連合会 (宮城県)	【木地玩具・漆器】 鳴子地域のこけしの生産量は20年前にと比べて半減している。そこで、これまで培ってきた伝統技術を活かし世界に通用する新たな製品開発を行う。そのために木地玩具の市場調査、販売先・販売商品等の研修、ブランド構築に精通した専門講師を招き、新伝統工芸品の製作・販売開拓等の研修を積み、国内外の消費者向けの木地玩具と漆器を融合させた試作品を製作するなど、ブランド確立のための調査研究を行う。
梁川町商工会 (福島県)	【ニット製品】 伊達ファッションの特徴であるニット。その糸染めから製品化、販売までのシステムをJAPANブランドと位置づけ、「伊達ファッション」プロジェクトとしてこれまであまり業界が手をつけていないロシアに進出するための調査・研究を行う。また地域の事業者に対してはロシア市場や商品開発、ブランドの確立等についての勉強会、研修会を行う。
足利商工会議所 (栃木県)	【繊維製品】 日本の意匠登録の第1号が、足利の織物鎬意匠の「雲井織」であることに着目。当時の雲井織の再現(復元)をきっかけに、新たな足利ブランド「足利銘織」として創造し、民間調査機関との連携により「雲井織」製品のデザイン化、販売戦略の策定を目指す。
鹿沼商工会議所 (栃木県)	【建具】 鹿沼建具の歴史は古く、長年にわたり蓄積してきた伝統技術が伝承され、木工製品の一大産地を形成している。組子という伝統技術をコアとして、ブランド戦略・マーケティング戦略の勉強会、海外市場調査等を実施し、国内はもとより、欧米市場において「組子ブランド」の確立を目指す。
糸魚川商工会議所 (新潟県)	【ヒスイ】 国内唯一の原産地として、小規模ながら十数社により加工販売が行われている。地域一丸となった取組みにより糸魚川ヒスイのブランドを確立し、地域おこしの起爆剤とする。専門家の招聘による加工技術・デザイン力の向上、市場調査等による国内・国外の市場ニーズを捉え、若年層向け商品開発等、ブランド化に向けた事業を実施する。
甲府商工会議所 (山梨県)	【宝飾品】 山梨県が培って来た宝石・宝飾品加工技術を生かし、国内はもとより海外に向け、宝飾品生産地としての「山梨ブランド」イコール「JAPANブランド」を発信するための戦略を策定する。また品質、技術の標準化及びマーケット情報の共有化により、消費者ニーズに応える商品開発力、販売力をネットワーク化して、産業全体の活性化を目指す。
静岡商工会議所 (静岡県)	【家具】 「総合家具産地」として長年蓄積された技術力等をベースに、国内外の製品との差別化を図り、高付加価値をつけた「静岡家具ブランド」を育成する。平成18年度は「光のインテリアプロジェクト」を立ち上げ、その新製品を国内向けに販売するとともに、海外展示会への出展、海外向け販売ルートの確立を目指す。

事業実施者(都道府県名)	事業概要
豊橋商工会議所 (愛知県)	【佃煮】 豊かな魚貝類と調味料の産地に支えられて、江戸時代末期から産地として発達。国内においては、時代の嗜好に適った形に進化発展させる基礎調査を実施、海外に向けては、日本の伝統食文化である佃煮の紹介と海外マーケット開拓のための調査研究を行う。この内外における調査研究を通じ、「三河佃煮ブランド」として広く普及するための具体的な戦略を策定を行う。
瀬戸商工会議所 (愛知県)	【窯業】 瀬戸は日本六古窯の一つであり、1300年もの長い歴史と伝統を誇る陶磁器産地である。古くから量産体制を確立し、バラエティに富んだ商品をリーズナブルに提供してきたが、「瀬戸らしさ」を明確化し、消費者のニーズ調査、商品・生活空間提案を行う等、ブランド化に向けた戦略を策定する。
蒲郡商工会議所 (愛知県)	【繊維製品】 蒲郡は、一次加工品から最終製品までを地域内で一貫して生産できる特徴を持った「三河繊維産地」として、長い歴史と伝統を誇ってきた。これまでの取り組みから明らかになってきた強み・弱みを整理・分析し、総合的なブランディング戦略の中核機関として「ブランド策定委員会」を設置、さらに各種委員会等を設置して効率的に事業を推進する。
白川村商工会 (岐阜県)	【薬草・山野草】 白山麓の自然の恵みによって自生する薬草・山野草等を有用した商品開発におけるブランド化への可能性の追求。個々の商品の市場調査を実施して、商品価値、ブランド力を高め、高品質と知名度の向上にはどういった戦略があるかを専門の講師を招いて研修会、勉強会を開催する。
高岡商工会議所 (富山県)	【銅器・漆器】 高岡銅器・高岡漆器は、美術工芸品をはじめ、日常生活品等としても幅広く使用されてきた。強みである「金属(銅)、漆の素材発色及びその製造技術を持つ“職人集団(Shokunin Syudan)”」をブランディング戦略における「キー・コンセプト」として、グローバルなファッション・ブランドに対し、B to Bの訴求を実施し、「グローバル・ブランド製造技能集団としてのブランド化」を目指す。
大野商工会議所 勝山商工会議所 (福井県)	【醗酵食品】 奥越前の事業者が持つ醗酵技術と醗酵食品・伝承的食品の発掘と選別を行い、生産履歴の確かな食品作りの体制を構築し、ブランド育成を目指す。醗酵技術を主体とした新商品、デザイン開発の方向性を決定する。日本食が食のカテゴリーとして醸成しているアメリカ市場、輸出に関し潜在性のある中国市場へ酒・味噌・醤油・食品の総合的提案と販路開拓を行う。
鳥取県商工会連合会 (鳥取県)	【インテリア】 千年の歴史を持つ「因州和紙」をはじめ、優れた伝統産業を有している因幡地方。しかし伝統製品の生産者に明確なブランドイメージの統一がなく、開発力、販売戦略等で十分な事業展開が図られていない。そこで今回、「因州和紙」「智頭杉」「金属加工」など、地域の特色ある企業の技術と文化をコラボレートさせて世界に通用する独自のインテリアブランドを確立するため、デザイナーの招聘、国内外の見本市等の調査、市場調査等を行い方向性を見出す。
新市商工会 (広島県)	【インテリア】 「ヨーロッパデザインによる生活・インテリアグッズの開発」 日本三大絣の一つである備後絣。現在では安価な海外製品に押れ、取り扱い企業が減少している。そこで備後絣の特徴である「軽量」「丈夫」「通気性」といった特性を活かしてヨーロッパデザインで統一したキッチン、バス、ガーデンといった水回り関係の商品の開発を行い、来年度以降首都圏、欧州を中心にブランド展開するための調査研究を行う。
三加茂町商工会 (徳島県)	【木製品】 三加茂町の基幹産業である林業の急激な衰退のため「三加茂産ブランド」の消滅が危惧されている。桐下駄と和を基調とした家具を試作・改良し、40歳以上の欧州の知識階級層をターゲットにプチレトロや和をベースにしたこれまでにない木工製品を、和のライフスタイルを通じて、生活にゆとりといやしを与えるような試作品作りを行う。そのための情報収集のために欧州で開催される展示会への視察を行いブランドコンセプトを固める。

事業実施者(都道府県名)	事業概要
五十崎町商工会 (愛媛県)	【和紙】 既にマーケットとして成立しているインテリア用品、食卓関連用品への参入は知名度のない五十崎ブランドでは難しいため、これまでにない和紙を使った高付加価値の製品を作り、欧州への展開を図る。そのための研修(付加価値商品等について)、日本の伝統工芸が評価されている国内外の見本市の視察、B2B、B2Cの市場調査を踏まえ、ブランドコンセプト、次年度以降の方向性を確立する。
香美市商工会 (高知県)	【刃物・農機具】 伝統的工芸品として指定受けている「土佐打刃物」は全国的に高い評価を得、農山林用刃物としては全国シェアの50%以上を占めている。この技術を活かして世界ブランド「ゾーリング」が席卷しているヨーロッパに進出し、国際的に通用するブランドを確立する。そのためにヨーロッパにおける当地域の伝統産業の評価の調査、ドイツ・フランスでの市場調査等を行い、来年度以降の展示会等への参加にむけてブランドコンセプトを作り上げる。
大木町商工会 (福岡県)	【花菓産】 当地はい草を使った製品製造や伝統的な掛川織を駆使した花ござの産地である。しかし、い草栽培事業者の激減により生産産地としての存在も怪しくなっており、地場産業の将来性も危うくなることが予想される。筑後地方の特産品である掛川織は重厚な美しさで高い芸術性を誇っており、このデザインの斬新性を生かして、新分野領域の開発を行う。そのためにブランドに対する勉強会、国内外の展示会、ショップ等の見学による市場動向の調査と新製品のイメージ作りを行い次年度の出展に向けての検討を行う。
小石原村商工会 (福岡県)	【陶器】 300年の歴史を誇る民陶である小石原焼きであるが、全国的にはほとんど認知されていない。そこで高い作陶技術を活かした新しい時代の、海外に通用する新しいデザインの小石原焼食器の開発、パッケージ、パンフレット等の製作を行い広報し、ブランド力を高めるため、食器の今後のあり方から多分野進出への可能性を考察しつつ、海外のものづくりの現場視察、デザイナーを招聘したデザインの研究、食器に対する意識調査等を行い次年度以降の計画を策定する。
城島町商工会 (福岡県)	【瓦インテリア、河川用環境ブロック】 城島町は瓦の産地であるが、認知度が低く慢性的な売上げの低迷が続いている。その現状を改善するため、瓦の製造技術を利用した環境にやさしいエコブロック(潟粘土を原料とした河川工事材)の開発、及び鬼瓦で培った高い意匠性を活用した海外向け瓦インテリア、モニュメント等の開発・ブランド化の研究を行う。今年度はそれらの実現のための素材・技術の研究、海外建材展示会での市場調査や新しいデザインの研究を行い戦略プランを立てる。
那覇商工会議所 国頭村商工会 (沖縄県)	【三線】 沖縄伝統楽器・三線の原材料である琉球黒檀の入手が困難になっている。癒し効果のある沖縄三線を地元の素材と新しい加工技術(圧密技術)により、沖縄産材の活用を図り、純沖縄産三線のブランド化を図る。また沖縄県人の住む各国において市場拡大のため、市場調査と販売戦略の策定を行う。